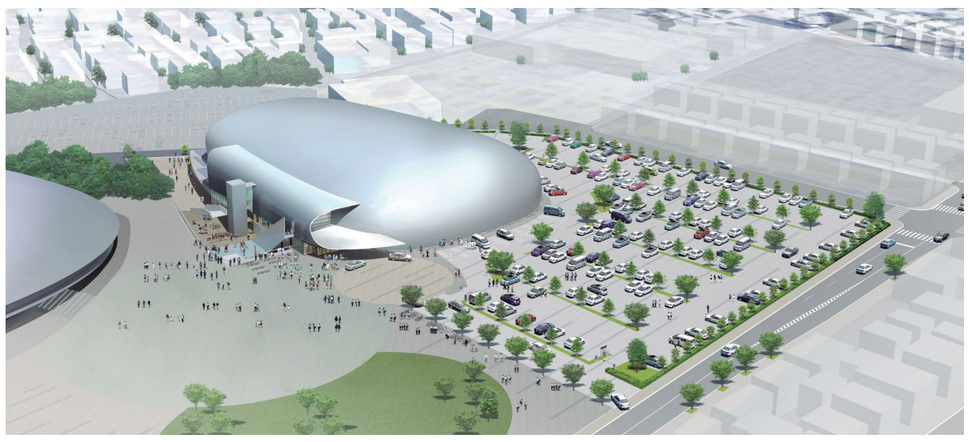
YohaS アリーナ～本能に、感動を。～

4月20日 供用開始



公園全体の再整備を加速化

ごあいさつ

千葉市長
神谷　俊一

このたび、ＹｏｈａＳアリーナ～本能に、感動を。～（千葉公園総合体育館）が令和5年（2023年）4月に供用開始の運びとなりました。

ＹｏｈａＳアリーナ～本能に、感動を。～（略称・よはアリ）は、千葉駅北エリアのまちづくりの核となる千葉公園内に位置しており、老朽化した「千葉公園体育館」「千葉市武道館」「千葉中央コミュニティセンター体育施設」の機能を集約し、新たな総合体育館として誕生します。

整備にあたり、バリアフリートイレや更衣室、聞こえを支援する磁気ループなどを完備し、誰にでも使いやすいユニバーサルデザインを採用しました。アリーナ、武道場、トレーニング室、屋外バスケットコート（3×3）などを配置し、市民大会やスポーツイベントの開催など、市民の皆様の身近なスポーツ拠点として活用できる施設となっています。

千葉公園は順次、再整備を進めており、先行オープンしているＴＩＰＳＴＡＲ　ＤＯＭＥ　ＣＨＩＢＡ（自転車競技の250㍍木製トラックを有する多目的スポーツ施設）とともに、スポーツゾーンの一角として、よりにぎわうことを期待しています。今後は、芝生広場をメインとしたオープンスペースの整備や飲食店等の設置を進め、公園全体の再整備を加速させてまいります。

結びに、本施設の供用開始に向け、ご尽力いただきました関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。

3施設の機能を集約 スポーツ拠点へ

千葉市が同市中央区で建設していた「YohaS アリーナ～本能に、感動を。～」（よはアリ、千葉公園総合体育館）が完成し、４月20日に供用を開始する。同体育館に「千葉公園体育館」「千葉市武道館」「中央コミュニティセンター体育館」の機能を集約。アリーナ、武道場、トレーニング室、屋外バスケットコートなどを配置した。設計はＩＮＡ新建築研究所、施工は新日本・日幸建設共同企業体が手がけた。

設計／株式会社ＩＮＡ新建築研究所　　施工／新日本・日幸建設共同企業体

設計コンセプト

立地の高低差生かしコンパクトに

本計画は高度化・多様化している市民のスポーツニーズに対応するために、既存体育施設３施設を集約し、千葉公園内に新たな総合体育館として整備するものです。市民のスポーツ活動の拠点であり、千葉公園の交流拠点としての役割も求められていました。

敷地の高低差を生かしスポーツ施設を積層させ体育館をコンパクトに集約配置することで、最大限の駐車場確保と屋外スポーツ空間の創出等、敷地内の有効活用を図りました。積層させることにより大きくなる建物のボリュームは隣接するＴＩＰＳＴＡＲ　ＤＯＭＥ　ＣＨＩＢＡ（千葉ＪＰＦドーム）との調和にも配慮したドーム形状とすることで、公園や住宅地への圧迫感を軽減しました。20ｍの高さ制限とスポーツ競技空間として必要な気積を確保するため、屋根構造に梁成が抑えられる単層シェル構造を採用し、内外双方からの制約を解決しています。

体育館の南側に３層吹抜けのエントランスホール「スポーツフォーラム」を配置することで、７ｍの高低差がある敷地東西双方からのアクセスと施設内の通り抜けも可能な計画としました。体育館利用者だけでなく、公園利用者のオアシス（休憩所）としても機能します。

誰もが気軽に立ち寄れスポーツに触れられる新たな公園内のシンボルとして、この体育館が市民に親しまれる施設となることを期待しています。

株式会社ＩＮＡ新建築研究所

建築設計部グループリーダー	楠部　博政
建築設計部プロジェクトマネージャー	北吉　貴行
建築設計部主任	伊藤　義浩

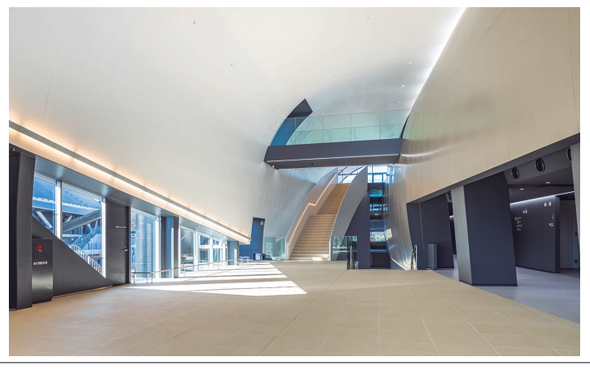
工事概要

◆工事名：（仮称）千葉公園体育館整備工事
◆所在地：千葉市中央区弁天４丁目１番２号
◆発　注：千葉市
◆設　計：株式会社ＩＮＡ新建築研究所
◆施　工：新日本・日幸建設共同企業体
◆用　途：体育館・観覧場
◆構　造：ＲＣ一部Ｓ造
◆階　数：地下１階地上３階
◆規　模：〈延床面積〉8,194.88㎡〈建築面積〉5,075.69㎡
◆工　期：2020年12月15日～23年１月４日

＊上空・内観写真は新日本建設提供

施工ＢＩＭで曲面的形状の精度向上

施設北東外観



エントランス

施工のポイント

千葉公園総合体育館の特徴は、曲線を多用した外観と、最大スパン54㍍の大スパン鉄骨トラス構造。曲面的形状を高精度で仕上げるため、施工ＢＩＭを活用した施工図の作成・施工数量の算出を実施した。新日本・日幸建設共同企業体の大木正博所長は「ＢＩＭで施工シミュレーションを行ったのは当社初の試みでした」と話す。

屋根架構時は、鉄骨トラス節点にジャッキを組み込んで枠組み足場とし、鉄骨建て方を行った。これにより鉄骨位置の確認・調整を容易にした。さらに、枠組み足場の間を全面足場板でふさぎ、屋根架構時の作業足場とすることで作業員の墜落災害を防止した。万全を期した安全対策が功を奏し、延べ労働約27万時間で無事故無災害を達成している。

施工品質向上のポイントはトラス斜材部へのアンカーボルト打ち込みの精度確保。アンカーボルトの精度が低いと鉄骨建て方に影響を及ぼすため、入念に確認しながら径52㍉のボルトを、38カ所の斜部に４～８本打ち込んだ。

２年にわたる工事を終えて大木所長は「工事関係者と一丸で施工に臨んだ結果、施主の千葉市に満足していただける仕上がりになりました。市民の皆さまが安心安全に利用でき、地域に根付いた体育館になることを願っています」と語った。

体育館　最大54ｍの大スパン鉄骨トラス構造

施工　新日本・日幸建設共同企業体

新日本建設株式会社
千葉市美浜区ひび野1-4-3　電話 043(213)1111

日幸建設株式会社
千葉市中央区登戸1-23-4　電話 043(246)5511

給排水設備工事　池田・大和建設共同企業体

池田建設工業株式会社
千葉市美浜区真砂5-19-3　電話 043(278)5111

大和設備工業株式会社
千葉市稲毛区天台4-1-12　電話 043(254)2323

空調設備工事　芝・福井建設共同企業体

芝工業株式会社
千葉市中央区本町3-3-15　電話 043(225)5222

福井電機株式会社
千葉市中央区問屋町16-3　電話 043(241)6401

■ サイン工事
株式会社 iron kurk
東京都足立区千住東1-26-8　電話 03(5284)6521

■ 木工事
株式会社 池田木材
千葉県木更津市高柳4957　電話 0438(38)6861

■ 型枠工事
型枠菊間 有限会社
千葉県市原市菊間2869-3　電話 0436(41)2626

■ 金属屋根・外壁工事
関東パステム工業 株式会社
千葉市中央区長洲1-11-1-206　電話 043(202)6655

■ 土工事
株式会社 クマガイ工業
千葉県松戸市稔台4-9-21　電話 047(711)8155

■ 地盤改良工事
株式会社 グランテック
千葉県船橋市湊町2-1-2　電話 047(436)8966

■ プレストレスト・コンクリート工事
黒沢建設 株式会社
東京都新宿区西新宿2-7-1　電話 03(6302)0221

■ 内装床工事
孝和建商 株式会社
千葉市中央区汐見丘町16-12　電話 043(245)4111

■ 金属工事
株式会社 三城
東京都足立区舎人5-28-27　電話 048(281)7369

■ 鋼製建具工事
三和シヤッター工業 株式会社 千葉営業所
千葉市中央区末広4-19-16　電話 043(265)3030

■ 防水工事
新バーレックス工営 株式会社
東京都足立区皿沼2-21-14　電話 03(6807)1993

■ 防音壁工事・消音工事
株式会社 スペースウエアー
東京都台東区鳥越2-11-13　電話 03(5823)6971

■ 外溝工事
星和産業 株式会社
埼玉県朝霞市大字上内間木639-1　電話 048(424)3926

■ 防球格子工事
帝国器材 株式会社
東京都足立区江北2-4-27　電話 03(3890)2194

■ 鳶・土工工事
富永建設 株式会社
東京都新宿区高田馬場4-36-3　電話 03(5337)8291

■ 鉄骨工事
株式会社 巴コーポレーション
東京都中央区月島4-16-13　電話 03(3533)7921

■ 塗装・吹付工事業
株式会社 ニレキ塗装
相模原市南区磯部1469-44　電話 042(777)1688

■ アスロック工事・耐火被覆工事
株式会社 ノザワ商事
東京都中央区新川1-4-1　電話 03(5540)6513

■ 鉄骨工事
ビーエルスチール 株式会社
神奈川県大和市中央林間1-10-25　電話 046(210)3838

■ コンクリート圧送工事
豊栄興業 有限会社
千葉県匝瑳市八日市場ハ806-1　電話 0479(73)2211

■ 山留工事
丸藤シートパイル 株式会社
東京都中央区日本橋本町3-7-2　電話 03(3639)7641

■ ガラス工事
株式会社 三好商会
横浜市西区北幸2-8-4　電話 045(328)3440

■ 鉄筋ガス圧接・溶接継手工事
有限会社 吉村工業所
千葉市若葉区高品町167　電話 043(232)2575

■ 金属工事
株式会社 ワカサキ工業
埼玉県八潮市大字二丁目160-301　電話 048(954)4861

【順不同】